

サプリメントに対する当院の考え

現代日本人の食生活は、食事内容の欧米化にともない、ごはんをはじめ大豆等の植物性タンパク質や魚といったいわゆる日本食の摂取低下が危惧され、糖尿病、高血圧症、脂質異常症といった生活習慣病の罹患率も増大してきております。



当院としましては、サプリメントアドバイザーの資格を有する医師（院長）と管理栄養士が協力し合い、診療の際に栄養バランスを考えた食事指導が適切に行えるよう取り組んでおります。

近年、メディア情報の影響もあり多くの国民が健康増進に努めております。しかしながら、例えばサプリメントの摂取について、果たしてどれほどの人が的確なサプリメントを選択できているのでしょうか。メディア情報を鵜呑みにして自分にとって本当に必要なサプリメントを適切に服用できているかは不明であります。実際に、「市販のサプリメント商品を何となく購入し、よくわからないけど漫然と飲み続けている」、または「通販で購入してしまったけど、商品を断ることも出来ず継続購入し続けている」といった患者さんの声を多数耳にします。

診察時の問診で、各々の患者にどのような症状が存在し、どのように改善したいのか（患者ゴール）をよく聞き取り、そのために何が必要なのか、何が足りないのかを適正に分析することで、初めて個々の患者にとって最適なサプリメントを提供できるのではないかと考えております。